

## 予定解析例

「既報療法による有害事象の発生割合と、本研究で得られる療法による発生割合に、有意な差があるかどうかを検定する。」

上記に対応したサンプルサイズの算出例を下記に表記します。

### 設定

- 1) 既報療法の発生割合を、どの値とするか。→ 40%
- 2) 本研究の療法で発生割合がどの程度になると予測するか。→ 20%

### 算出結果

- 例1) (有意水準=0.05、検出力=0.80、両側検定、比率の検定(1標本)) → 41例以上  
例2) (有意水準=0.05、検出力=0.90、両側検定、比率の検定(1標本)) → 54例以上

ご参考のため、下図に本研究療法で発生割合を変えた場合のグラフを表示しました。

